



# 分断されたIT基盤とセキュリティのばらつきによるリスクと非効率性を解消するための、具体的かつ効果的な取り組みの推進

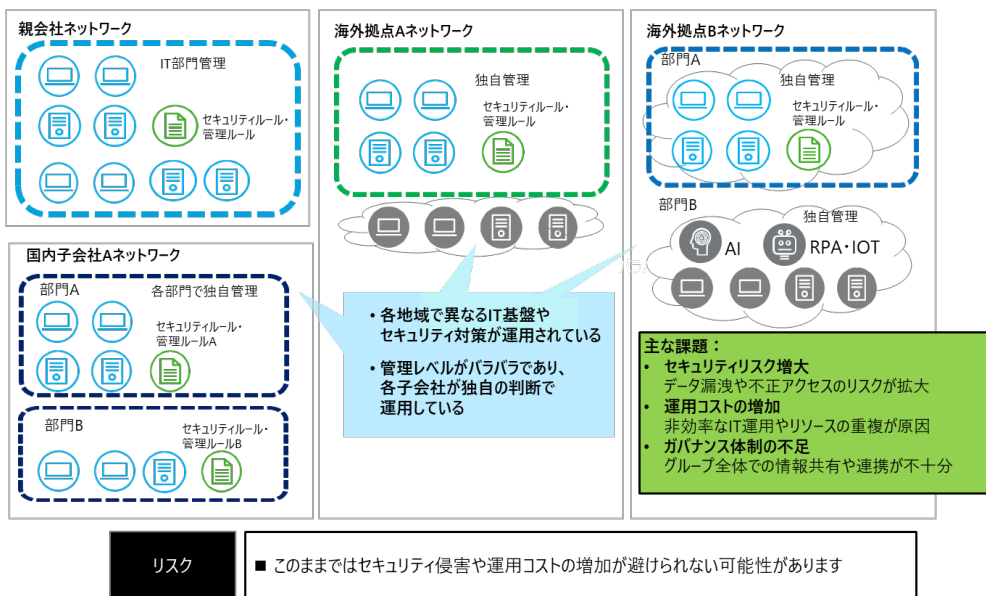
## グローバル企業におけるITガバナンスの課題

現在、多くの企業がIT基盤の分断やセキュリティ管理のばらつきに直面しており、統一的なITガバナンスの実現が困難な状況にあります。各子会社が独立して運用を行っているため、セキュリティリスクが増大し、非効率なIT運用やリソースの重複が運用コストの増加を招いています。

このような課題は、以下のような深刻な影響をもたらします。

- データ漏洩や不正アクセスなどのセキュリティリスクの拡大
- グループ全体での情報共有や意思決定の遅れ
- 長期的な視点での競争力の低下

これらの課題に対応し、持続可能な成長を実現するためには、効率的で統一されたITガバナンス体制の構築が急務です。



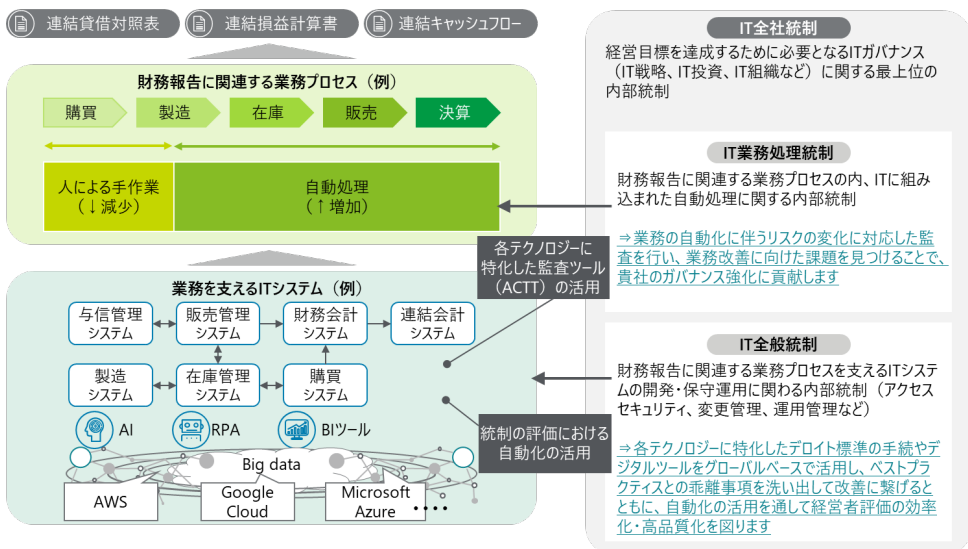
## これらの課題を解決するためのアプローチ:

### 1. グループ企業のIT環境を診断し、ツールを活用してリスクを迅速かつ的確に可視化

まず、グループ企業全体のIT環境を診断し、専用ツールを活用してリスクを迅速かつ的確に可視化します。これにより、IT基盤とセキュリティ体制を包括的に評価し、存在するリスクや現状の問題点を明確化します。

また、「Automated Controls Testing Tools (ACTT)」などのデジタルツールを活用し、効率的かつ正確な診断を行います。その診断結果を基に、具体的な改善策を提案し、課題解決を加速します。

さらに、第三線の内部監査機能を再定義するとともに、第二線組織との連携を強化することで、全社的なリスクの可視化を実現します。これらの取り組みにより、グループ企業のIT環境の現状を詳細に把握し、リスクを適切に管理するための基盤を構築します。



## 2. ロードマップの作成

次に、現状の課題に対応するため、中央集権型と分散型のバランスを考慮したITガバナンス体制の構築を目指します。これにより、組織全体で統制を効かせながら、各子会社や部門の独立性も確保し、柔軟かつ効率的な運用を実現することが求められます。

ロードマップを作成する際には、「人」「プロセス」「ツール（テクノロジー）」という3つの軸を基盤として、具体的に何を成し遂げるべきかを検討することが重要です。「人」の観点ではITガバナンスを担う人材の育成や役割の明確化を行い、「プロセス」の観点では統一的な運用方針やポリシーの策定、評価基準の設定を進めます。そして、「ツール（テクノロジー）」の観点ではデジタル技術を活用したモニタリングやリスク診断を支えるシステムを整備し、効率的な運用を実現します。

イメージ図に示された取り組みを基に、各年度の計画を段階的に実施することで、企業のIT環境を体系的に再構築し、リスク管理と効率的な運用を両立させた、現実的で持続可能なガバナンス体制の確立を目指します。これにより、短期的な課題への対応から長期的なIT戦略を見据えた取り組みまで、企業全体の競争力とIT基盤の強化に向けた道筋を明確化することが可能となります。

### ITガバナンスの継続的な改善

IT管理態勢やITリスクへの対応施策を踏まえ、組織全体のITガバナンスをモニタリングし、継続的な改善を推進段階的にIT管理レベルを向上させる取り組みを実施

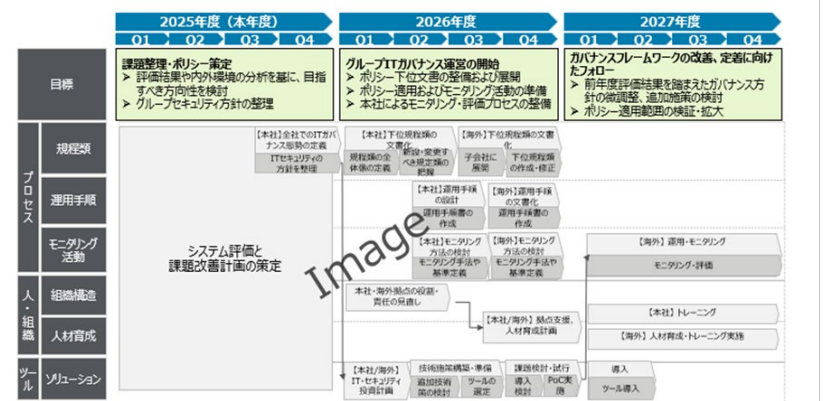
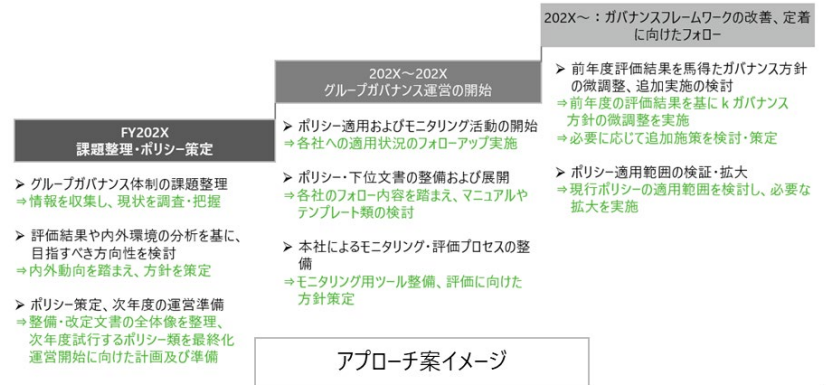
### 攻めと守りを両立したITガバナンスの構築

- ・ リスク管理やセキュリティ強化といった防御的側面と、攻めのIT戦略のバランスを考慮したITガバナンスを構築
- ・ データアナリティクスやデジタルトランスフォーメーション（DX）を見据えた「攻め」のガバナンス戦略を提案

具体的な事項（案）

戦略に応じた以下を含むガバナンス戦略の構築：

- ・ データ管理統制
- ・ アクセス管理
- ・ セキュリティ統制
- ・ ルールの標準化

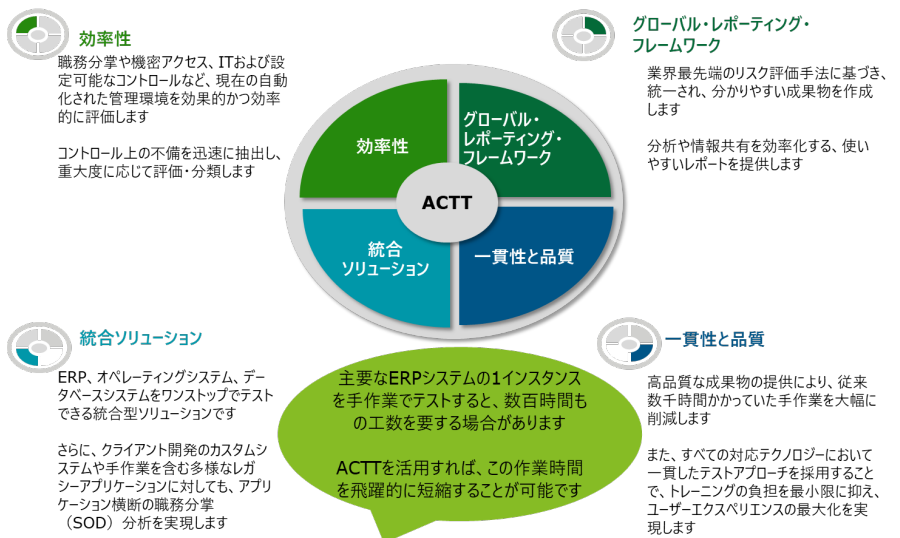


## ACTTのご紹介

デロイトは、IT課題の迅速かつ効率的な識別のために「ACTT」を活用しています。

ACTTは、グローバル基準でベンチマークされた理想的な統制モデルをもとに、現状とのギャップを自動的に抽出・分析する先進的なツールです。主にシステムやインフラの設定情報を自動収集し、詳細な分析を行うことで、システム設定やユーザー権限に関する潜在的な課題を明確にします。

さらに、従来は何百時間も要していた評価作業を大幅に短縮し、短時間で高品質な分析結果をご提供できる点もACTTの大きな特長です。



#### 効率性

職務分掌や機密アクセス、ITおよび設定可能なコントロールなど、現在の自動化された管理環境を効果的かつ効率的に評価します

コントロール上の不備を迅速に抽出し、重大度に応じて評価・分類します

#### 統合ソリューション

ERP、オペレーティングシステム、データベースシステムをワンストップでテストできる統合型ソリューションです

さらに、クライアント開発のカスタムシステムや手作業を含む多様なレガシーアプリケーションに対しても、アプリケーション横断的職務分掌（SOD）分析を実現します

#### グローバル・レポート・フレームワーク

業界最先端のリスク評価手法に基づき、統一され、分かりやすい成果物を作成します

分析や情報共有を効率化する、使いやすいレポートを提供します

#### 一貫性と品質

高品質な成果物の提供により、従来数千時間かかっていた手作業を大幅に削減します

また、すべての対応テクノロジーにおいて一貫したテストアプローチを採用することで、トレーニングの負担を最小限に抑え、ユーザーエクスペリエンスの最大化を実現します

主要なERPシステムの1インスタンスを手作業でテストすると、数百時間もの工数を要する場合があります

ACTTを活用すれば、この作業時間を飛躍的に短縮することが可能です

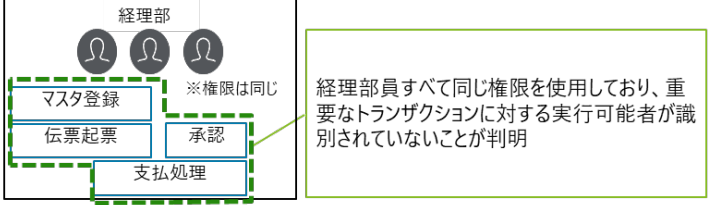
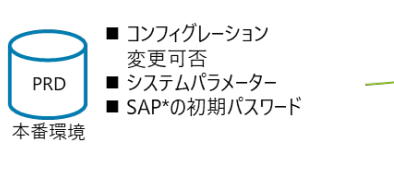
## デロイトトーマツの強み・実績

デロイトトーマツは、グローバル企業におけるITガバナンス強化を支援し、サイバーリスクの低減、統一的なITガバナンス体制の構築、IT運用の効率化とコスト削減、グループ全体での情報共有と意思決定の迅速化といった成果を実現してきました。

実際の事例として、専用ツール「ACTT」を活用した診断により不正アクセスリスクを特定し、セキュリティの強化と運用コスト削減を達成するなど、具体的な成功例も数多くあります。また、導入プロセスにおいては、「現状の診断」「ロードマップ策定」「改善の実行とモニタリング」の3ステップを軸に、専用ツールや高品質なIT監査資料を活用してプロセスを視覚的に明示しながら、効率的かつ透明性の高い支援を提供します。

さらに、グローバルネットワークを活用した専門的なサポート、ACTTなどの最新ツールによる迅速な診断、業界のベストプラクティスに基づくガバナンス戦略の構築といった強みを活かし、企業のITガバナンス強化を通じて、競争力向上と持続可能な成長を実現するパートナーとして貢献します。

ACTT (Automated Controls Testing Tool) \*\*などのツールを活用し、効率的かつ正確な監査を実施  
加えて、職務分離 (SOD)、機密アクセス権 (SA)、システム設定 (CC) の3領域を重点的に診断

ACTT 3領域	診断結果イメージ	改善策																
<p>SA Sensitive Access</p> <p>SA</p>	 <p>※権限は同じ</p> <p>経理部員すべて同じ権限を使用しており、重要なトランザクションに対する実行可能者が識別されていないことが判明</p>	<p>システム権限の設計を見直し、実務に即したものにします。</p>																
<p>SOD Segregation of Duties</p> <p>SOD</p>	<table border="1" data-bbox="379 1016 837 1211"> <thead> <tr> <th>アクセス権限</th> <th>事務センター</th> <th>財務</th> <th>経理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マスタ登録</td> <td></td> <td></td> <td>不正リスク</td> </tr> <tr> <td>請求書登録</td> <td>○</td> <td>不正リスク</td> <td>不正リスク</td> </tr> <tr> <td>支払い処理</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>経理部員は左記全ての権限をもっており、リスクが高い状態であることが判明</p>	アクセス権限	事務センター	財務	経理	マスタ登録			不正リスク	請求書登録	○	不正リスク	不正リスク	支払い処理		○	○	<p>リスク観点から業務分掌の見直しを行ない、必要なシステム権限のみに限定して担当者へ割当を行う。</p>
アクセス権限	事務センター	財務	経理															
マスタ登録			不正リスク															
請求書登録	○	不正リスク	不正リスク															
支払い処理		○	○															
<p>CC Configurable Controls</p> <p>CC</p>	 <p>■ コンフィグレーション変更可否 ■ システムパラメーター ■ SAP*の初期パスワード</p> <p>PRD 本番環境</p> <p>直接、本番環境のコンフィグレーションが変更可能であることが判明</p>	<p>本番環境のコンフィグレーションを見直し、変更手順を整備、アクセス可能者を限定する。</p>																

※貴社および貴社との関係会社とデロイト トーマツ グループの関係において監査人としての独立性が要求される場合、本サービス内容が提供できない可能性があります。詳細はお問い合わせください。

# Deloitte. トーマツ.

## デロイト トーマツ

デロイト トーマツグループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイト ネットワークのメンバーである合同会社デロイト トーマツグループならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、合同会社デロイト トーマツ、デロイト トーマツ 税理士法人およびDT 弁護士法人を含む）の総称です。デロイト トーマツグループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従いプロフェッショナルサービスを提供しています。また、国内30都市以上に2万人超の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツグループ Web サイト、[www.deloitte.com/jp](http://www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（“Deloitte Global”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数指します。Deloitte Globalならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。Deloitte Globalおよびその各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。Deloitte Globalはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は[www.deloitte.com/jp/about](http://www.deloitte.com/jp/about)をご覧ください。デロイト アジア パシフィック リミテッドは保証有限責任会社であり、Deloitte Globalのメンバーファームです。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィック における100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、最先端のプロフェッショナルサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促進することで、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来180年の歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をバース（存在理由）として標榜するデロイトの約46万人の人材の活動の詳細については、[www.deloitte.com](http://www.deloitte.com)をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（“Deloitte Global”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDeloitte Global、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対しても責任を負いません。Deloitte Globalならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。

Member of  
**Deloitte Touche Tohmatsu Limited**

© 2025. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

IS/BCMSそれぞれの認証範囲はこちらをご覧ください  
<http://www.bsigroup.com/clientDirectory>